

みんなのた場

スポット
ライト

おらほの家プロジェクト

和みと談笑 茶飲み会 サロン活動で絆を支援

「おらほの家プロジェクト」は、牡鹿地区と荻浜地区で、お茶飲み会や趣味の集まりなどのサロン活動を通じて心身の健康づくりや地域コミュニティーの再生に取り組んでいる団体です。小湊浜の民家を借り受け、「おらほの家」と称して活動拠点にしています。

代表管理人の本庄年々さんをはじめ、ボランティアや福祉関係者が主体となり、高齢者を中心に約40人の地域住民によって運営されています。交通手段を持たない人たちのために送迎も行っています。利用者は地域ごとに3班に分かれ、それぞれ週1回のペースで定期的にお茶飲み会や食事会に参加。時にはカラオケや手芸などの教室、近場へのお出掛けも楽しんでいます。



過疎化と震災で人口減少が進む半島部に寄り添いながら高齢者が元気に暮らせるような生活関連サービス、地域包括ケアの一端を担っています。

3月16日に開かれたお茶飲み会には、近くの

浜の住民ら9人が参加。和みの時間、憩いの空間で震災当時の話や近況、よもやま話に花を咲かせました。

大原浜の三上ますえさんは「皆さんとお会いでき、お茶を飲みながら世間話で盛り上がるのが一番の楽しみ。ボケ予防にもなっています」と談笑します。

気軽に立ち寄れる場所、活動を共にする仲間ができたことで、自分の役割や楽しさ、生きがいを見いだし、社会参加の意欲を高めることにつながっています。

ほかにもさまざまな効果があります。自宅以外の居場所があることで閉じこもりを防げます。自宅で過ごすよりも体を動かすので介護予防になり、会話や笑いで脳を使っているので認知症の予防も期待できそうです。

サロン活動は元々、震災当時から石巻地方や気仙沼地方で医療支援に当たってきた一般社団法人「キャンナス東北」の支援活動の一つでしたが、事業継続のため「おらほの家プロジェクト」の結成と同時に2016年5月に移譲され、同年7月から拠点を清水田浜から現在地に移して再開しました。

ただ、昨年以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動はお茶飲み会だけになっています。

本庄さんは「コロナが収束し、以前のような活動が早く再開できることを願っています」と話しています。

ささえあいセンター通信 ③

ささえあいセンターは、地域包括ケアの拠点として、市民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、「福祉まるごと相談」の設置のほか、いろいろな会議や研修会などを実施してきました。その中から、市民の方々を対象とした「ほっとお～る市民講座」を紹介します。

ほっとお～る市民講座



この講座は、昨年の市報いしのまき12月号で掲載した、地域包括ケアシステムの取り組みの一つである「住民の皆さんとともに協働して地域課題を一緒に考えていく取り組み」として主にささえあい活動をテーマに実施し、市が取り組んだこと、活動の意味と内容、地域における活動の実践例の話、グループワークによる意見交換などを行いました。

ほかに、医療と介護を必要とする方々が住み慣れた地域で暮らすための連携や支援についての会議や研修会、介護予防の体操教室、各種相談会など地域包括ケアに関わるさまざまな団体による事業が実施されました。

ささえあいセンターは、現在休館中となっていますが、今後も市報やホームページを通して、地域包括ケアの理解や役割などお伝えしていきます。なお、相談窓口は引き続き、ささえあいセンターで行っています。

☎ 包括ケア推進室(内線2572)



石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第20号

こんにちは、桜坂高等学校です。

今年の春は急ぎ足にやって来ました。私たちの桜坂高校のある日和山の桜も例年より早い4月初めには満開になりました。



3月25日 合格者説明会「桜咲く」

合格者説明会には親子で参加いただきました。新しい生活についての諸注意を熱心にお聴きいただきました。



4月8日 入学式

石巻市立桜坂高等学校第7回入学式では、115人の新入生を迎えました。「私たちの桜坂高校へようこそ!」



河北 ニホンジカを集団ごと捕獲

上品山牧場に大型囲いわな設置

牡鹿半島ニホンジカ対策協議会は3月19日、河北上品山牧場にニホンジカを集団捕獲する大型囲いわなを設置しました。協議会の会員ら28人が、外周400mにわたって高さ1.8~2.4mのくいを等間隔で地面に刺し、網を掛けました。わなの入り口はシカが集まる時間に自動で閉まります。年々深刻化するニホンジカによる農作物被害対策の実証実験で、市内では3カ所目の設置となります。



河南 消防、防災活動の新たな拠点に

広淵・町上班ポンプ置場を新築

市消防団河南地区団第5分団の「町上班ポンプ置場」が新築され、3月28日から使用が開始されました。広淵字町に昭和48年に建築された旧ポンプ置場が老朽化したため、市が昨年9月から、旧ポンプ置場跡地で新築工事などを進めました。新ポンプ置場は木造2階で延べ床面積約70㎡。1階は車庫、2階は会議などを行う詰所があり、広淵地区の消防、防災活動の新たな拠点となります。



雄勝 「元気に帰ってきてね!!」

復旧施設で育てたさけ稚魚放流

3月4日、大原川さけ人工ふ化場で飼育された、さけ稚魚の放流が行われました。震災後、仮施設で事業を続けてきましたが、復旧して初めての放流となります。この日は約33万尾が放流され、合計で94万尾の放流を予定しています。放流された稚魚は夏のオホーツク海を目指して大海原へと旅立ち、4年後に産卵のため、雄勝湾へと帰ってきます。



桃生 迫力演奏で震災復興を祈念

アメリカ空軍音楽隊コンサート

アメリカ空軍太平洋音楽隊による東日本震災10周年復興祈念コンサート(桃生文化協会主催)が3月13日、桃生公民館大ホールで開催されました。同音楽隊の隊員で組織する金管五重奏団とロックバンドが迫力ある演奏を披露し、約100人の聴衆を魅了しました。アンコールでは、震災復興支援ソング「花は咲く」を日本語の歌も交えて披露し、客席から大きな拍手が送られました。



石巻 震災から10年 慰霊碑を除幕

石巻南浜津波復興祈念公園に建立



東日本大震災の犠牲者を弔う石巻市慰霊碑が石巻南浜津波復興祈念公園に完成し、震災から10年の3月11日に除幕式が行われました。慰霊碑は、主に黒御影石製で長さ34m、高さ1mの弓なりの形状。芳名板には市内で犠牲になった人や行方不明者ら4,094人のうち、遺族の同意を得た3,695人の名前が刻まれています。式では遺族代表の佐藤梨恵さんらが除幕し、式後は大勢の一般弔問客が訪れ、追悼の祈りを込めて献花しました。



北上 元気な声で「ハイ！」

北上こども園で入園式

昨春に北上町十三浜の拠点エリア内で開園した市立北上こども園の本年度入園式が4月5日に行われました。本年度は4人の新入園児たちが保護者のみなさんと一緒に式に臨み、子どもたちは自分の名前を呼ばれると元気な声で堂々と「ハイッ!」と返事をしていました。入園の記念品を代表で受け取った大内彩葉ちゃん(3)は「友だちと一緒にすべり台で遊ぶのが楽しみです」と笑顔で話し、期待に胸をふくらませていました。

